

大塚 敬節
矢数 道明
責任編集

世近
漢方醫學書集成

93

山田業広 二

名著出版
刊



南京中医药大学图书馆版权所有

近世漢方医学書集成 93 山田業広(二)

第Ⅲ期
全40卷

昭和五十七年三月二十五日 発行

編者

大塚敬節
矢数道明

発行者

中村安孝

発行所

株式会社
名著出版

東京都文京区小石川三ノ十ノ五
電話東京(八二五)一二七〇番代
振替口座 東京七一二三〇四番

製版所

株式会社
日本写真製版社

印刷所

有限会社
伊藤印刷

製本所

辻本製本所



予約限定版

落丁本・乱丁本はお取替えします。

責任編集

大塚 敬 節

矢数 道 明

編集委員

山 田 光 胤

寺 師 睦 宗

大塚 恭 男

矢 数 圭 堂

松 田 邦 夫

凡 例

- 一、本書第九十三卷「山田業広(二)」には、『九折堂読書記』中の「千金方」を収録した。
- 一、本書は全て影印版によつて収録したが、影印にあたっては次のようにした。
 - イ、新たに柱と頁数を付した。
 - ロ、底本を縮小し、一頁に半丁ずつ収めた。
 - ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。
- 二、底本にある蔵書印及び書き込み等はそのままにした。
- 一、底本は次の通りである。
 - 九折堂読書記 稿・写本十冊(国立国会図書館蔵)
- 一、本書収録書目の解題については、第九十二卷「山田業広(一)」に記した。

山田業広
(二)

目次

凡例.....六

九折堂讀書記

千金方札記序.....五

千金要方讀書記序.....九

千金方上.....一三

新校備急千金要方序.....一三

新校備急千金要方例.....一三

備急千金要方序.....二九

卷第一 婦人.....三三

卷第二 婦人方上.....六二

卷第三 婦人方中.....八一

卷第四 婦人方下.....八九

卷第五上 少小嬰孺方上.....一〇三

卷第五下 少小嬰孺方下.....一四

卷第六上 竅病上	一四
卷第六下 竅病下	一五
千金方中	一六
卷第七 風毒脚氣	一七一
卷第八 諸風	一八七
卷第九 傷寒上	二〇六
卷第十 傷寒下	二二〇
卷第十一 肝臟	二三六
卷第十二 胆腑	二五三
卷第十三 心臟	二六八
卷第十四 小腸腑	二八九
卷第十五上 脾臟上	三〇三
卷第十五下 脾臟下	三二五
卷第十六 胃腑	三三一
卷第十七 肺臟	三三〇
千金方下	三五三
卷第十八 大腸腑	三五五

卷第十九 腎臟·····	三六八
卷第二十 膀胱腑·····	三八七
卷第二十一 消渴他·····	三九七
卷第二十二 丁腫·····	四〇六
卷第二十三 痔漏·····	四二八
卷第二十四 解食毒·····	四四四
卷第二十五 備急·····	四五八
卷第二十六 食治·····	四六九
卷第二十七 養性·····	四八二
卷第二十八 平脈·····	四九九
卷第二十九 針灸上·····	五二九
卷第三十 針灸下·····	五三五

九折堂読書記

千金方

九折堂讀書記

千金方上



千金方札記序

唐人之方書傳于世者無幾而孫氏千金方王氏外臺秘要歸然
全存向為醫林之鴻寶矣孫子書大抵採摭晉唐間陳延之謝士泰
阮汴南等仁則之類是也而卷中文字訓詁學者或難于解釋焉是
乃山田子勤所以有此編之撰也孫書大醫習業及精誠二篇為學
醫者指南矣而用藥合和諸篇與本草序錄相出入斯亦臨證處藥
車義也其他論說證治有裨於醫學者不尠矣但至方藥則有一
方調和數十味之多者有以烏附乳譽投之酒中服者凡此等皆回
用于今而房中補益一篇殊屬不經雖或漢志房中八家之遺恐無
有此理矣朱丹溪亦嘗論之蓋真人名品極高為時人所崇重然原
非醫人故其方法未悉經試驗者竊思近乎道家飾卷軸而衛人之

術然則讀此書當披沙而金始露歟石而泉益清若徒稱為一部好
醫書亦皮相之論也子勤嘗學於伊澤蘭軒先生益勵清人攷證之
學以移為醫家讀書之法者自謂郭象何法盛之事深耻之是以
著書等身引據繁不為影響捕風之說當世所罕見尤可欣仰
也近日西洋醫流盛行奉一先生譯書為免園冊學醫者歸焉可
為齒冷目張也予嘗與丹波直庭小島學古友善時伊澤朴甫洪江
子良堀川未濟諸輩皆一世之英秀來往相會互為商榷而今乃其
人已故無一存者誠可惋惜矣獨子勤與予全然無恙而子勤尚鏗
鏘精勤修道老不少衰予乃桑榆景迫庸懶日加一事無成愧子勤
多矣子勤隱居上毛高崎謬以予為可道者頃來東京齋此書見示
山河隔絕而年老相遇真可謂翰墨之奇緣蓋昔人所謂得入知己

可以無憾也遂忘固陋敢弁數語于簡首以還之

明治六年六月上澣七十翁喜多邨直實士栗撰

